

【美術Ⅰ】

<学習内容について>

生涯にわたって美術に親しみ、豊かな生活を過ごすことを目的とした科目です。一年間を通じて絵画、デザイン、鑑賞を中心とした内容を学習します。描く、作る、観る、考えるといった活動から美術作品、自然や生活、身の回りから美しさを素直に感じ取る心を、持てるようになることが大切です。

<教材について>

教科書：『高校生の美術Ⅰ』（日本文教出版－記号：116 日文 美Ⅰ・702）

<レポートについて>

〔前期〕・〔後期〕それぞれ3回のレポートがあります。内容は記述問題と作品の制作です。

記述問題：教科書内容から基本的問題を出題します。

課題作品：絵画、デザインを中心に毎回異なった課題を出します。レポートに課題、制作手順や制作上のポイントなどを解説しています。作品の大きさは基本的にはレポートの大きさ（B5サイズ程度）となります。

記述問題の空欄、未完成の作品、提出方法の不備などがあると再提出となります。

<学習の進め方について>

記述問題：教科書の内容から出題します。指示された箇所をよく読むと解答できる基本的な問題です。

また、教科書掲載の作品や作家などについて調べたり、感想などを記述することもあります。自分の考えや思いを文章表現できることも大切です。

作品制作：毎回課題を出します。課題の趣旨や条件などをよく考えて取り組みましょう。上手下手よりも、どれだけ考え、想像、創作する力を発揮しているかが大切です。安易に仕上げずに、工夫を凝らし、ていねいに表現するように心がけましょう。行き詰まったり制作の進め方に疑問があるときは積極的に質問するようにしましょう。

<スクーリングについて>

前期・後期それぞれ5時間以上の出席が必要です。各レポートの内容に関連した解説や鑑賞、課題作品に関連した基本的な実技指導を行います。教科書や実技に必要な用具類を忘れると、出席が認められませんので気を付けましょう。スクーリングで必要な用具については、毎回レポートに記載しますのでよく読んでおきましょう。

〔課題作品やスクーリングで使う基本的な用具例〕

画用紙やケント紙、トレーシングペーパー、鉛筆、カラーペン、色鉛筆、水彩絵具セット、定規、コンパスなど。

<評価について>

評価は試験成績と平常点（レポートの成績、実技成績、学習態度等）を以下の観点をもとに総合して100点法で行い、30点以上を合格とします。

[知識・技能]

美術の意義や創作活動に関わる諸要素について理解を深め、基礎となる技能の習得

[思考・判断・表現]

表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力の育成。

[主体的に学習に取り組む態度]

表現および鑑賞の可能性を追求する態度。